

注3 **大学番号：私192**

[平成29年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

名古屋芸術大学 芸術学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人名古屋自由学院
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学務部教務学生課

職名・氏名 課長・奥田 ^{オクダ} ^{ハルト} 治人

電話番号 0568-24-0325

（夜間） 0568-24-0325

F A X 0568-24-0326

e-mail kyoumuka@nua.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人名古屋自由学院

(2) 大学名

名古屋芸術大学

(3) 大学の位置

〒481-8503

愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地（東キャンパス及び本部）

〒481-8535

愛知県北名古屋市徳重西沼65番地（西キャンパス）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カワムラ ダイスケ) 川村 大介 (平成22年4月)		
学長	(タケモト ヨシアキ) 竹本 義明 (平成28年4月)		
学部長	(ハギハラ マコト) 萩原 周 (平成29年4月)		
学科長等	(ムラカミ マサヒロ) 村上 正裕 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
芸術学部 芸術学科 学士(芸術)	音楽関係 美術関係	4年	445人	3年次 35人	1,850人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 445 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 445 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - () []	人 - () []	人 - () []	人 - () []			0.90倍	
志願者数	540 (-) [2]	- (-) [-]	605 (-) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []				
受験者数	532 (-) [2]	- (-) [-]	588 (-) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []				
合格者数	498 (-) [2]	- (-) [-]	575 (-) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []				
B 入学者数	361 (-) [2]	- (-) [-]	446 (-) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []				
入学定員超過率 B/A	0.81		1.00									

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	361 [2] (-)	- [-] (-)	446 [2] (9)	- [-] (-)					
2年次	/		338 [2] (-)	- [-] (-)					
3年次	/		/						
4年次	/		/		/				
計	361 [-] (-)		784 [2] (9)						

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	361人	0人	平成29年度	0人	-人	
平成30年度	793人	14人	平成29年度	14人	-人	・就学意欲の低下(7人) ・学生個人の心身に関する事情(7人)
			平成30年度	0人	-人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合計	793人	14人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{361} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{14}{793} = \boxed{1.76} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<芸術学部 芸術学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学総合共通科目 — 一般科目群	大学生になる	1前	1			6	4	1			1
	ボランティア	1後		2							1
	アートと数・図形	1後		2			1				1
	日本語表現	1後	1								1
	現代芸術と文化	1後		2		2					
	民俗学	2前後		2		1					1
	子育てとアートの人類学	1前後		2			1				1
	感覚の生物学	1前後		2			1				
	哲学	1前後		2		1					
	倫理学	1前後		2		1					1
	歴史と人間	1前後		2							1
	文学	1前後		2		1					
	異文化入門	1前後		2		1	2				
	自分を知る心理学	1前後		2			1				1
	社会と平和	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	自然と物理	1前後		2							1
	環境・社会と科学	1前後		2			1				1
	健康と体力	1前後		2		2					
	健康スポーツ	1前後		2		2					1
	インターンシップ	2後		2		1					
	知的所有権	2後		2							1
	情報メディア演習Ⅰ	1前後	2					1			1
	情報メディア演習Ⅱ	2前後		2				1			1
	キャリア1	1前		2		1					
	キャリア2	2前後		2		1					2
	英語1	1前後	1			1	1				3
	英語2	1前後	1			1					2
	英語3	1前後	1			1	1				4
	コミュニケーション英語1	1前後	1			1		1			2
	コミュニケーション英語2	1前後	1			1		1			1
	コミュニケーション英語3	1前後		1		1		1			0
	フランス語Ⅰ	1前後	1			1			1		
	フランス語Ⅱ	1前後	1			1			1		
	フランス語Ⅲ	2後	1			1			1		
	ドイツ語Ⅰ	1前後	1			1			1		
	ドイツ語Ⅱ	1前後	1			1			1		
	ドイツ語Ⅲ	2後	1			1			1		
イタリア語Ⅰ	1前後	1			1			1			
イタリア語Ⅱ	1前後	1			1			1			
イタリア語Ⅲ	2前後	1			1			1			
中国語Ⅰ	1前後	1								2	
中国語Ⅱ	1前後	1								1	
中国語Ⅲ	2後	1								1	
全学総合共通科目 — 横断科目群	音楽の世界	1前		2		1					
	西洋音楽史各論	1前		2		1					
	ポップスミュージックシーン	2前後		2						1	
	ロックミュージックシーン	2前後		2						1	
	ジャズ概論	3後		2						1	
	舞台芸術概論	1前後		2		1					
	美術文化各論1	1前		2		1					
	美術文化各論2	1前		2		1					
	美術文化各論3	2後		2		1					
	美術文化各論4	2後		2		1					
	美学	1後		2							1
	美術解剖学	2前		2							1
	エコロジーとバリアフリー	1前後		2							1
	認知科学	1前後		2							1
	デザインと文化1	1前		2			1	1			
デザインと文化2	1前		2			1	1				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学総合共通科目 — 一般科目群	大学生になる	1前後	1			2	2	1			8
	ボランティア	1後		2							1
	アートと数・図形	1後		2			1				1
	日本語表現	1前後	1			0	3	1			12
	現代芸術と文化	1後		2		1					
	民俗学	1前後		2		1					0
	子育てとアートの人類学	1前後		2			1				0
	感覚の生物学	1前後		2			1				
	哲学	1前後		2		0					3
	倫理学	1前後		2		0					2
	歴史と人間	1後		2							1
	文学	1前後		2		1					
	異文化入門	1前後		2		1	1				
	自分を知る心理学	1前後		2			0				1
	社会と平和	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							2
	自然と物理	1前後		2							1
	環境・社会と科学	1前後		2			1				1
	健康と体力	1前後		2		1					1
	健康スポーツ	1前後		2		0					3
	インターンシップ	2前後		2		1					
	知的所有権	2後		2							1
	情報メディア演習Ⅰ	1前後	2						1		1
	情報メディア演習Ⅱ	2前後		2					1		1
	キャリア1	1前後		2		0					2
	キャリア2	2前後		2		0					1
	英語1	1前	1			0	2				3
	英語2	1後	1			0	2				4
	英語3	1前後	1			0	1				
	コミュニケーション英語1	1前	1			1		1			2
	コミュニケーション英語2	1後	1			1		1			1
	コミュニケーション英語3	1後		1		1		1			0
	フランス語Ⅰ	1前後	1			1			1		
	フランス語Ⅱ	1前後	1			1			1		
	フランス語Ⅲ	2後	1			1			1		
	ドイツ語Ⅰ	1前後	1			1			1		
	ドイツ語Ⅱ	1前後	1			1			1		
	ドイツ語Ⅲ	2後	1			1			1		
イタリア語Ⅰ	1前後	1			1			1			
イタリア語Ⅱ	1前後	1			1			1			
イタリア語Ⅲ	2後	1			1			1			
中国語Ⅰ	1前	1								1	
中国語Ⅱ	1後	1								1	
中国語Ⅲ	2後	1								1	
全学総合共通科目 — 横断科目群	音楽の世界	1前		2		10	3		1		
	西洋音楽史各論	1後		2		1					
	ポップスミュージックシーン	2前		2						1	
	ロックミュージックシーン	2前		2						1	
	ジャズ概論	3後		2						1	
	舞台芸術概論	1後		2		1					
	美術文化各論1	1後		2		1					
	美術文化各論2	1後		2		1					
	美術文化各論3	2前		2		1					
	美術文化各論4	2前		2		1					
	美学	1後		2							1
	美術解剖学	2後		2							1
	エコロジーとバリアフリー	1前		2							1
	認知科学	1前		2							1
	デザインと文化1	1後		2			2	0			
デザインと文化2(未開講)	1後		2			2	0				

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 員	助 手		
専 門 科 目 ／ 領 域 共 通 ／ 音 楽	室内楽基礎2	1後		1		3	1					
	室内楽 I-1	1前		1		3	1					
	室内楽 I-2	1後		1		3	1					
	合奏 I-1	1前		1		3	1				1	
	合奏 I-2	1後		1		3	1				1	
	演奏実習 I-1	1前		1		14	3				26	
	演奏実習 I-2	1後		1		14	3				26	
	舞踊表現・バレエ1	1前		1							1	1
	舞踊表現・バレエ2	1後		1							1	1
	ダンス実技 I-1	1前		1							1	1
	ダンス実技 I-2	1後		1							1	1
	和声学 I-1	1前		2		1					1	
	和声学 I-2	1後		2		1					1	
	ソルフェージュ実習 I-1	1前		1		1					1	
	ソルフェージュ実習 I-2	1後		1		1					1	
	ピアノ I-1	1前		1		6	1				7	
	ピアノ I-2	1後		1		6	1				7	
	声楽実習 I-1	1前		1		3					3	
	声楽実習 I-2	1後		1		3					3	
	合唱1-1	1前		1							1	
	合唱1-2	1後		1							1	
	西洋音楽史概論	1後		2		1						
	音楽通論	1前後		2							2	
	邦楽(歌唱)	1前後		1							1	
	邦楽(和楽器)	1前後		1							1	
	民族音楽研究	1前後		2		1						
	サウンドメディア基礎演習	1通		4		1					2	
	ステージマネジメント I	1通		8		1					2	
	音楽ケアデザイン ワークショップ1	1通		4			1					
	音楽ケアデザイン ワークショップ2	1通		4			1					
	音楽ケアデザイン ワークショップ3	1通		4		1						
	音楽表現実技 I	1通		8		14	3				27	
	総合音楽実技1	1通		8		14	3				27	
	障害児教育	2前		2							1	
	マーチング実習2	2前		1							1	
	音楽と教育	2前		2		2						
	器楽基礎研究1	2前		1		3	1					
	音楽心理学	2前		2		1						1
	社会福祉概論	2前		2								1
	発達心理学	2前		2			1					1
	スコアリーダーイング演習	2前		2		1						1
	ショービジネス	2前		2		1						1
	音楽制作基礎演習1	2前		2							1	
	音楽制作基礎演習2	2後		2							1	
	録音音響デザイン実習 I-1	2前		2			1					1
	録音音響デザイン実習 I-2	2後		2			1					1
	アートマネジメント英語2-1 (テクニカル用語含む)	2前		2							1	
	アートマネジメント英語2-2 (テクニカル用語含む)	2後		2							1	
	ステージコミュニケーション1	2前		2		1						1
	ステージコミュニケーション2	2後		2							1	
	トータルステージインフォメーション	2前		2							1	
	臨床心理1	2前		2							1	
臨床心理2	2後		2							1		
合唱2-1	2前		1							1		
合唱2-2	2後		1							1		
初見奏法1	2前		1		1							
初見奏法2	2後		1		1							
チェンバロ奏法1	2前		1							1		
チェンバロ奏法2	2後		1							1		
伴奏法 I-1	2前		1							1		
伴奏法 I-2	2後		1							1		
ピアノ重奏法1	2前		1		1							
ピアノ重奏法2	2後		1		1							
室内楽 II-1	2前		1		3	1					2	
室内楽 II-2	2後		1		3	1					2	
合奏 II-1	2前		1		3	1				1	7	
合奏 II-2	2後		1		3	1				1	7	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 員	助 手		
専 門 科 目 ／ 領 域 共 通 ／ 音 楽	室内楽基礎2	1後		1		6	1					
	室内楽 I-1	1前		1		6	0					2
	室内楽 I-2	1後		1		6	0					2
	合奏 I-1	1前		1		6	1					7
	合奏 I-2	1後		1		6	1					7
	演奏実習 I-1	1前		1		1					1	2
	演奏実習 I-2	1後		1		1					1	2
	舞踊表現・バレエ1	1前		1							1	1
	舞踊表現・バレエ2	1後		1							1	1
	ダンス実技 I-1	1前		1							1	1
	ダンス実技 I-2	1後		1							1	1
	和声学 I-1	1前		2			1	1				2
	和声学 I-2	1後		2			1	1				2
	ソルフェージュ実習 I-1	1前		1		1		1				3
	ソルフェージュ実習 I-2	1後		1		1		1				3
	ピアノ I-1	1前		1			4					1
	ピアノ I-2	1後		1			4					1
	声楽実習 I-1	1前		1			2					7
	声楽実習 I-2	1後		1			2					7
	合唱1-1	1前		1								1
	合唱1-2	1後		1								1
	西洋音楽史概論	1前		2				1				
	音楽通論	1前後		2				1	1			1
	邦楽(歌唱)	1前後		1								1
	邦楽(和楽器)	1前後		1								1
	民族音楽研究	1前後		2				1				
	サウンドメディア基礎演習	1通		4				1				3
	ステージマネジメント I	1通		8				2				3
	音楽ケアデザイン ワークショップ1	1通		4					1			
	音楽ケアデザイン ワークショップ2	1通		4					1			
	音楽ケアデザイン ワークショップ3(未開講)	1通		4			0					1
	音楽表現実技 I	1通		8		14	3	1				38
	総合音楽実技1	1通		8		14	3	1				38
	障害児教育	2前		2								1
	マーチング実習2	2前		1								1
	音楽と教育	2前		2			1					
	器楽基礎研究1	2前		1			2	0				
	音楽心理学	2前		2			0			1		
	社会福祉概論	2前		2								1
	発達心理学	2前		2				0				1
	スコアリーダーイング演習	2前		2			1					
	ショービジネス	2前		2			1					
	音楽制作基礎演習1	2前		2			2					1
	音楽制作基礎演習2	2後		2			2					1
	録音音響デザイン実習 I-1	2前		2				1				1
	録音音響デザイン実習 I-2	2後		2				1				1
	アートマネジメント英語2-1 (テクニカル用語含む)	2前		2				1				0
	アートマネジメント英語2-2 (テクニカル用語含む)	2後		2				1				0
	ステージコミュニケーション1	2前		2			0					1
	ステージコミュニケーション2	2後		2								1
	トータルステージインフォメーション	2前		2								1
	臨床心理1	2前		2								1
臨床心理2	2後		2								1	
合唱2-1	2前		1								1	
合唱2-2	2後		1								1	
初見奏法1(未開講)	2前		1				1					
初見奏法2(未開講)	2後		1				1					
チェンバロ奏法1	2前		1								1	
チェンバロ奏法2	2後		1								1	
伴奏法 I-1	2前		1								1	
伴奏法 I-2	2後		1								1	
ピアノ重奏法1	2前		1			1						
ピアノ重奏法2	2後		1			1						
室内楽 II-1	2前		1			5	0				2	
室内楽 II-2	2後		1			5	0				2	
合奏 II-1	2前		1			6	1				7	
合奏 II-2	2後		1			6	1				7	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
											修		択	由
専門科目／領域共通／美術	美術実技Ⅱ-1	2前	2		1								3	
	美術実技Ⅱ-2	2前	2			1							2	
	美術実技Ⅱ-3	2前	2		2								2	
	美術実技Ⅱ-4	2前	2		2								2	
	美術実技Ⅱ-5	2後	2		2	1							1	
	美術実技Ⅱ-6	2後	2		2								3	
	美術実技Ⅱ-7	2後	2		2								2	
	美術実技Ⅱ-8	2後	2		2								1	
	美術実技Ⅱ-9	2後	2			1	1							
	デザイン実技1	2前	2										1	
	デザイン実技2	2前	2										1	
	デザイン実技3	2後	2										1	
	デザイン実技4	2後	2										1	
	美術演習Ⅱ-1	2隔週通年	2			1								
	美術演習Ⅱ-2	2前	2			1								
	美術演習Ⅱ-3	2後	2			1								
	美術演習Ⅱ-4	2前	2									1		
	美術文化演習Ⅰ-1	2前	2			1								
	美術文化演習Ⅰ-2	2後	2			1								
	日本画実技Ⅱ-1	2前	8									3		
	日本画実技Ⅱ-2	2後	8									2		
	洋画実技Ⅱ-1	2前	8			1						5		
	洋画実技Ⅱ-2	2後	8			1						5		
	美術史研究Ⅰ	2後	2										1	
	鑄造技法	2後	2			1								
	金属加工技法	2後	2										1	
	絵画技法材料論1	2前後	2			1								
	絵画技法材料論2	2後	2			1								
	テラコッタ技法	2前後	2										1	
	版画史	2後	2										1	
	乾漆技法	2通	2										1	
	専門科目／領域共通／デザイン	デザイン概論	1前	2				2						
		文学史	1前	2		1								
		デザイン実技Ⅰ-1	1前	2		1	1	3					3	
		デザイン実技Ⅰ-2	1前	2		4	1	1					2	
		デザイン実技Ⅰ-3	1後	2		2	1	1					4	
		デザイン実技Ⅰ-4	1後	2			2	2					4	
		デザイン基礎演習A	1前	2		1								
		デザイン基礎演習B	1前	2		1								
		デザイン基礎演習C	1前	2		1								
デザイン基礎演習D		1後	2									1		
デザイン基礎演習E		1後	2		1									
デザイン基礎演習F		1後	2		1									
レビューⅠ		1後	2			10	6	4						
レビューⅡ		2後	2			10	6	4						
文芸実技Ⅰ-1(小説創作)		1前	2		1									
文芸実技Ⅰ-2(絵本・児童文学創作)		1前	2			1								
文芸実技Ⅰ-3(キャッチコピー創作)		1前	2		1									
文芸実技Ⅰ-4(小説創作)		1後	2		1								1	
文芸実技Ⅰ-5(絵本・児童文学創作)		1後	2			1								
文芸実技Ⅰ-6(キャッチコピー創作)		1後	2		1									
雑誌編集法		1後	2										1	
コンピュータ表現基礎		1前後	2										4	
デザイン演習Ⅰ		2前	2		1	3	1						4	
観察学・考現学		2前	2										1	
デザインワークショップ		2前	2			1								
印刷論		2前	2			1								
材料学		2前	2		1									
工芸制作		2前	2									3		
染織技法材料		2前	2		1									
工芸技法材料		2前	2										1	
デザイン実技Ⅱ-1		2前	2		6	2	1						1	
デザイン実技Ⅱ-2		2前	2		1								9	
専		デザイン実技Ⅱ-3	2後	2		2	2	1					5	
		デザイン実技Ⅱ-4	2後	2		3	1	1					6	
		製品企画論A	2前	2		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
											修		択	由
専門科目／領域共通／美術	美術実技Ⅱ-1	2前	2			1							2	
	美術実技Ⅱ-2	2前	2					0					2	
	美術実技Ⅱ-3	2前	2					0					2	
	美術実技Ⅱ-4	2前後	2					0					3	
	美術実技Ⅱ-5	2前後	2					1	0				2	
	美術実技Ⅱ-6	2後	2							1			2	
	美術実技Ⅱ-7	2後	2										2	
	美術実技Ⅱ-8	2前後	2										2	
	美術実技Ⅱ-9(未開講)	2後	2					0	1					
	デザイン実技1	2前	2										1	
	デザイン実技2	2後	2										1	
	デザイン実技3	2前	2										1	
	デザイン実技4	2後	2										1	
	美術演習Ⅱ-1	2前	2				1						1	
	美術演習Ⅱ-2	2後	2				1							
	美術演習Ⅱ-3	2隔週通年	2				0	1						
	美術演習Ⅱ-4	2後	2										1	
	美術文化演習Ⅰ-1	2前	2			1								
	美術文化演習Ⅰ-2	2後	2			1								
	日本画実技Ⅱ-1	2前	8										2	
	日本画実技Ⅱ-2	2後	8										2	
	洋画実技Ⅱ-1	2前	8			1		1					3	
	洋画実技Ⅱ-2	2後	8			1		1					2	
	美術史研究Ⅰ	2後	2										1	
	鑄造技法	2後	2				1							
	金属加工技法	2後	2										1	
	絵画技法材料論1	2前	2			1								
	絵画技法材料論2	2後	2			1								
	テラコッタ技法	2前	2										1	
	版画史	2前	2										1	
	乾漆技法	2通	2										1	
	専門科目／領域共通／デザイン	デザイン概論	1前	2				1	1					
		文学史	1前	2		1								
		デザイン実技Ⅰ-1	1前	2		1	3	2					3	
		デザイン実技Ⅰ-2	1前	2		1	2	2					4	
		デザイン実技Ⅰ-3	1後	2		3	2	1					3	
		デザイン実技Ⅰ-4	1後	2		2	3	1					3	
		デザイン基礎演習A	1前	2		1								
		デザイン基礎演習B	1前	2		1								
		デザイン基礎演習C	1前	2		0		1						
デザイン基礎演習D		1前	2		1								0	
デザイン基礎演習E		1前	2		0	1								
デザイン基礎演習F		1前	2		0	1	1							
レビューⅠ		1後	2		10	7	2							
レビューⅡ		2後	2		10	7	2							
文芸実技Ⅰ-1(小説創作)		1前	2		0		1							
文芸実技Ⅰ-2(絵本・児童文学創作)		1前	2			1								
文芸実技Ⅰ-3(キャッチコピー創作)		1前	2		1									
文芸実技Ⅰ-4(小説創作)		1後	2		0		1						1	
文芸実技Ⅰ-5(絵本・児童文学創作)		1後	2			1								
文芸実技Ⅰ-6(キャッチコピー創作)		1後	2		0		1							
雑誌編集法		1後	2										1	
コンピュータ表現基礎		1前後	2										4	
デザイン演習Ⅰ		2前後	2		2	2	1						5	
観察学・考現学		2前	2										1	
デザインワークショップ		2前	2			1								
印刷論		2前	2			1								
材料学		2前	2		1									
工芸制作		2前	2										3	
染織技法材料		2前	2		1									
工芸技法材料		2前	2										1	
デザイン実技Ⅱ-1		2前	2		7	4	0						1	
デザイン実技Ⅱ-2		2前	2		1								8	
専		デザイン実技Ⅱ-3	2後	2		1	3	0					6	
		デザイン実技Ⅱ-4	2後	2		3	1	1					7	
		製品企画論A	2前	2		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
開する科目	教育実習Ⅱ	4後			2	1						
	教育実習Ⅲ	4後			2	1						
	教職実践演習(中・高)	4後			2	2						1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
開する科目	教育実習Ⅱ	4後			2	0						1
	教育実習Ⅲ	4後			2	0						1
	教職実践演習(中・高)	4後			2	1						1

- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育課程充実のためクラス数を増加。「大学生になる」「日本語表現」
- ・学生への教育効果を考え開講時期を変更。「現代芸術と文化」「民俗学」「歴史と人間」「文学」「キャリア1」「英語1」「英語2」「コミュニケーション英語1」「コミュニケーション英語2」「フランス語1」「フランス語2」「中国語2」「西洋音楽史各論」「美術文化各論2」「エコロジーとバリアフリー」「認知科学」「デザインと文化2」「人類生存のための教養」「文化史」「教養と現代1」「アート・プロジェクト1」「立体造形」「建築史」「工芸史」「彫刻論」「近代美術史」「アートマネジメント概論」「音楽ケアデザイン各論1」「西洋音楽史概論」「美術実技 I-3 (日本画)」「美術演習 I-2 (美術文化2)」「石彫技法」「教職論」「教育原論」「教育制度論」「教育課程論」
- ・就任辞退のため。「子育てとアートの人類学」「自分を知る心理学」「中国語1」「建築史」「アート・プロジェクト2」「図学1」「音楽通論」「デザイン基礎演習D」「デザイン基礎演習E」「デザイン演習 II-2」「学習心理学」「教育相談」
- ・授業上の効果向上のため担当教員を追加。「哲学」「英語1」「英語2」「コミュニケーション英語1」「コミュニケーション英語2」「音楽の世界」「版画実技1」「エンターテインメントディレクション特殊研究」「絵画」「音楽芸術基礎研究」「アートマネジメント概論」「録音音響デザイン研究1」「録音音響デザイン研究2」「室内楽基礎1」「室内楽基礎2」「室内楽 I-1」「室内楽 I-2」「合奏 I-1」「合奏 I-2」「和声学 I-1」「和声学 I-2」「ソルフェージュ実習 I-1」「ソルフェージュ実習 I-2」「ピアノ I-1」「ピアノ I-2」「音楽実習 I-1」「音楽実習 I-2」「合唱 I-1」「合唱 I-2」「サウンドメディア基礎演習」「ステージマネジメント I」「音楽表現実技 I」「総合音楽実技1」「クロッキー」「美術実技 I-4 (油彩)」「教育原論」「教育実習 I」「教育実習 II」「教育実習 III」
- ・授業運営上の都合により担当教員数を変更。「倫理学」「英語3」「コミュニケーション英語3」「副科実技 A-1」「図学2」「副科実技 A-2」「演奏実習 I-1」「演奏実習 I-2」「器楽基礎研究1」「洋画実技 I-1」「洋画実技 I-2」「デッサン I」「デッサン II」「版画実技 II」「デザイン概論」「デザイン実技 I-1」「デザイン実技 I-2」「デザイン実技 I-3」「デザイン実技 I-4」「レビュー I」
- ・職位の変更。「健康と体力」「キャリア1」「キャリア2」「デザインと文化2」「ソーシャルデザイン論」「副科実技 B-1」「副科実技 B-2」「デザイン理論」「室内楽 II-1」「室内楽 II-2」「合奏 II-1」「合奏 II-2」「演奏実習 II-1」「演奏実習 II-2」「音楽実習 II-1」「音楽実習 II-2」「器楽合奏 II」「器楽合奏 II」「器楽基礎研究2」「音楽表現実技 II」「総合音楽実技2」「美術実技 II-4」「デザイン基礎演習 C」「レビュー II」「デザイン実技 II-1」「デザイン実技 II-3」「文芸実技 II-4 (日本語プレゼン)」「芸術教養レビュー2」「セミナー2」「器楽応用研究1」「合奏 III-1」「合奏 III-2」「室内楽 III-1」「室内楽 III-2」「音楽表現実技 III」「総合音楽実技3」「器楽応用研究2」「合奏 IV-1」「合奏 IV-2」「室内楽 IV-1」「室内楽 IV-2」「音楽表現実技 IV」「総合音楽実技4」「広告表現論」「美術実技 III-1」「美術実技 III-7」「日本画実技 III-1」「日本画実技 III-2」「美術実技 IV-1」「美術実技 IV-2」「日本画実技 IV-1」「デザイン実技 III-1」「デザイン実技 III-2」「デザイン実技 III-4」「文芸演習 II-1 (恋愛心理学)」「レビュー III」「デザインプロデュース」「デザイン実技 IV」「卒業研究 (音楽)」「卒業研究 (美術・デザイン)」
- ・教職課程設置への対応のため。「教育課程論」「教育方法論」

【平成30年度】

- ・学生への教育効果を考え開講時期を変更。「大学生になる」「日本語表現」「現代芸術と文化」「文学」「インターンシップ」「英語3」「コミュニケーション英語3」「フランス語 II」「ドイツ語 II」「イタリア語 III」「中国語 I」「中国語 II」「ポップスミュージックシーン」「ロックミュージックシーン」「舞台芸術概論」「美術文化各論1」「美術文化各論2」「美術文化各論3」「美術文化各論4」「美術解剖学」「エコロジーとバリアフリー」「認知科学」「デザインと文化1」「情報リテラシー1」「書道アート1」「彫刻論」「近代美術史」「工芸理論」「映像とメディア (絵画)」「絵画演習」「デザイン教育演習」「デザイン理論」「近現代彫刻論」「映像メディア表現 (デザイン)」「写真論」「考古学」「生涯学習概論」「異文化体験」「メディア表現1」「メディア表現2」「美術実技 I-8 (プリント&ソーイング)」「美術演習 I-1 (美術文化1)」「ワークショップ演習」「美術実技 II-8」「デザイン実技2」「デザイン実技3」「美術演習 II-1」「美術演習 II-2」「美術演習 II-3」「美術演習 II-4」「絵画技法材料論1」「テラコッタ技法」「版画史」「デザイン基礎演習 D」「デザイン基礎演習 E」「デザイン基礎演習 F」「デザイン演習 I」「文芸実技 II-1 (小説創作)」「文芸実技 II-4 (日本語プレゼン)」「教職論」「教育原論」「教育制度論」「教育課程論」「美術科・工芸科指導法2」「美術科指導法1」「美術科指導法2」
- ・授業運営上の都合により担当教員数を変更。「大学生になる」「民俗学」「異文化入門」「健康スポーツ」「人類生存のための教養」「アート・プロジェクト2」「絵画」「副科実技 B-1」「副科実技 B-2」「写真演習」「ピアノ I-1」「ピアノ I-2」「音楽実習 I-1」「音楽実習 I-2」「合唱 I-1」「合唱 I-2」「音楽表現実技 I」「総合音楽実技1」「器楽基礎研究1」「演奏実習 II-1」「演奏実習 II-2」「洋画技法」「美術実技 I-4 (油彩)」「美術実技 II-2」「美術実技 II-3」「美術実技 II-4」「美術実技 II-5」「美術実技 II-6」「日本画実技 II-1」「洋画実技 II-1」「洋画実技 II-2」「洋画実技 III-2」「教育原論」
- ・教育上の効果向上のため担当教員を追加。「日本語表現」「哲学」「キャリア1」「英語1」「英語2」「音楽の世界」「教養と現代2」「副科実技 A-1」「副科実技 A-2」「日本美術史」「西洋美術史」「情報と芸術」「室内楽基礎1」「室内楽基礎2」「室内楽 I-1」「室内楽 I-2」「合奏 I-1」「合奏 I-2」「音楽通論」「音楽制作基礎演習1」「音楽制作基礎演習2」「録音音響デザイン実習 I-1」「録音音響デザイン実習 I-2」「室内楽 II-1」「室内楽 II-2」「合奏 II-1」「合奏 II-2」「和声学 II-1」「和声学 II-2」「ソルフェージュ実習 II-1」「ソルフェージュ実習 II-2」「サウンドメディア応用演習 I」「ステージマネジメント II」「音楽表現実技 II」「総合音楽実技2」「美術実技 I-7 (ガラス)」「美術実技 II-7」「美術実技 II-8」「デザイン概論」「デザイン実技 I-1」「デザイン実技 I-2」「デザイン実技 I-3」「デザイン実技 I-4」「デザイン演習 I」「デザイン実技 II-1」「デザイン実技 II-3」「デザイン実技 II-4」「製品企画論 A」「製品企画論 B」
- ・退職のため担当教員数を変更。「現代芸術と文化」「レビュー I」「レビュー II」「教育制度論」「教育実習 I」「教育実習 II」「教育実習 III」「教職実践演習 (中・高)」
- ・職位の変更。「デザインと文化1」「アート・プロジェクト3」「録音音響デザイン研究1」「録音音響デザイン研究2」「伴奏法 II-1」「伴奏法 II-2」「音楽表現実技 III」「総合音楽実技3」「音楽表現実技 IV」「総合音楽実技4」「卒業研究 (音楽)」「美術実技 III-3」「美術実技 III-4」「美術実技 III-6」「美術実技 III-7」「美術実技 III-8」「美術実技 III-9」「美術演習 III-3」「美術演習 III-4」「美術演習 III-7」「学外演習 I (インターンシップとワークショップ1)」「美術実技 IV-1」「美術実技 IV-4」「美術実技 IV-5」「美術実技 IV-6」「学外演習 II (インターンシップとワークショップ2)」「レビュー III」「卒業制作 (美術)」「卒業制作 (美術・デザイン)」「音楽科指導法1」「音楽科指導法2」「音楽科指導法4」「特別活動論」「生徒・進路指導論」
- ・授業運営上の都合により担当者を変更。「日本語リテラシー2」「図学1」「版画実技1」「図学2」「音楽芸術基礎研究」「アートマネジメント英語1-1」「アートマネジメント英語1-2」「ノートリーディング I」「ノートリーディング II」「音楽ケアデザイン各論2」「演奏実習 I-1」「演奏実習 I-2」「和声学 I-1」「和声学 I-2」「ステージマネジメント I」「発達心理学」「ステージコミュニケーション1」「ピアノ II-1」「ピアノ II-2」「音楽実習 II-1」「音楽実習 II-2」「スコアリーディング I」「スコアリーディング II」「器楽基礎研究2」「洋画実技 I-3」「洋画実技 I-4」「デッサン II」「プロジェクト演習」「美術演習 II-1」「美術演習 II-3」「文芸実技 I-1 (小説創作)」「文芸実技 I-4 (小説創作)」「文芸実技 I-6 (キャッチコピー創作)」「デザイン実技 II-2」「文芸実技 II-1 (小説創作)」「文芸実技 II-2 (戯曲創作)」
- ・退職のため担当者を変更。「彫刻」「文化社会学」「美術実技 I-1 (ドローイング/アイデアとエスキース)」「美術実技 I-2 (クリエイター研究/ポートフォリオ制作演習)」「近現代日本画表現1」「近現代日本画表現2」「日本画実技 III-1」「日本画実技 IV-1」
- ・就任辞退により担当者を変更。「アートマネジメント英語2-1 (テクニカル用語含む)」「アートマネジメント英語2-2 (テクニカル用語含む)」「文芸実技 II-4 (日本語プレゼン)」
- ・教育課程充実のため授業科目を追加「声優アクティング表現実技 I」「声優アクティング表現実技 II」

- (注) ・ 変更内容 (記当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度 (平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	571 科目	22 科目	600 科目	7 科目 [0]	573 科目 [2]	22 科目 [0]	602 科目 [2]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	デザインと文化2	2	1後	一般	選択	平成29年度開講、「デザインと文化1」と隔年開講、次年度開講予定
2	デザインと文化4	2	2後	一般	選択	「デザインと文化3」と隔年開講、次年度開講予定
3	海外研修	2	1前	専門	選択	平成29年度開講、隔年開講、次年度開講予定
4	教養と地域文化2	1	2前	専門	選択	「教養と地域文化1」と隔年開講、次年度開講予定
5	教養文化と職業2	1	2後	専門	選択	「教養文化と職業1」と隔年開講、次年度開講予定
6	音楽ケアデザインワークショップ3	4	1通	専門	選択	授業運営上の都合により未開講、次年度開講予定
7	初見奏法1	1	2前	専門	選択	授業運営上の都合により未開講、次年度開講予定
8	初見奏法2	1	2後	専門	選択	授業運営上の都合により未開講、次年度開講予定
9	美術実技Ⅱ-9	2	2後	専門	選択	授業運営上の都合により未開講、次年度開講予定
10	乾漆技法	2	2通	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定
11	工芸制作	2	2前	専門	選択	授業運営上の都合により未開講、次年度開講予定
12	美術科・工芸科指導法1	1	2前後	専門	選択	「美術科・工芸科指導法2」と隔年開講、次年度開講予定

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については選択科目であり、学生は開講年次以降、どの学年でも履修可能な科目であるため、隔年開講科目として昨年度開講した科目も含め、来年度には開講予定であることから学生の不利益にはならないものとする。学生へは、授業時間割表によって周知を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{12}{600} = \boxed{2} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容					備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体		
	校舎敷地	53,923.20 m ²	0 m ²	0 m ²	53,923.20 m ²				
	運動場用地	7,286.24 m ²	0 m ²	0 m ²	7,286.24 m ²				
	小計	61,209.44 m ²	0 m ²	0 m ²	61,209.44 m ²				
	その他	14,014.96 m ² 15,082.96 m ²	0 m ²	0 m ²	14,014.96 m ² 15,082.96 m ²				
	合計	75,224.40 m ² 76,292.40 m ²	0 m ²	0 m ²	75,224.40 m ² 76,292.40 m ²				
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体		
		65,809.81 m ² (65,809.81 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	65,809.81 m ² (65,809.81 m ²)				
(3) 教室等		講義室 56 室	演習室 50 室	実験実習室 198 室	情報処理学習施設 8 室 (補助職員 2人)	語学学習施設 2 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室数				
		芸術学部 芸術学科			80 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	平成29年度は除籍した書籍が多かったため、図書の冊数は減少したが、図書購入費を増額することで、視聴覚資料を充実させた。(30)	
	芸術学部	294,082 [65,212] (254,084 [60,588]) (260,200 [60,931])	1,188 [157] (1,228 [187])	12 [12] (11 [11])	38,494 (42,539) (36,678)	— (—)	— (—)		
	計	294,082 [65,212] (260,200 [60,931])	1,188 [157] (1,228 [187])	12 [12] (11 [11])	38,494 (36,678)	— (—)	— (—)		
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体		
	2,719 m ²		318 席		195,000 冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	1,944.54 m ²		テニスコート 7 面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究費の配分を見直し、個人研究費を減額し共同研究費を設けることで、研究の充実を図った。(29) 図書購入費を増額し、充実を図った。(29)
		教員1人当り研究費等	25 160千	25 160千	図書購入費	18,900 19,500千	10,500 4,875千	10,500 19,500千	
	共同研究費等	5,950 —千	5,950 —千	設備購入費	67,000千円	16,750千円	67,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,621千円	1,421千円	1,421千円	1,421千円	—千円	—千円		
		学生納付金以外の維持方法の概要							

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	名古屋芸術大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
芸術学部	年	人	年次 人	人		倍			
芸術学科	4	445	3年次 35	890	学士 (芸術)	0.90	平成29年度	愛知県北名古屋市熊之庄古井281	
人間発達学部									
子ども発達学科	4	140	3年次 10	580	学士 (教育学)	0.54	平成19年度	愛知県北名古屋市熊之庄古井281	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区分	留意事項等	履行状況	未履行事項についての実施計画	
設置時 (29年4月)	・人間発達学部子ども発達学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	人間発達学部子ども発達学科の過去4年の入学者は、平成26年度100名、27年度100名、28年度70名、29年度77名で推移しており、入学定員140名を充足していない。芸術学部芸術学科の設置に伴い、全学総合共通科目が見直され、人間発達学部学生が芸術系科目を履修可能となり平成29年度は、前年度と比して10%の改善があった。芸術大学の中の間発達学部であることをPRし学生募集の向上を図る。(29)	未履行	人間発達学部子ども発達学科の開設年度(平成19年度)以降、平成25年度までの平均入学者数は141名であり、入学定員を充足していたが、平成26年度から減少傾向にあり、定員充足ができていない。そのため、平成28年5月に「人間発達学部改編委員会」、平成29年3月に「入試プロジェクト会議」を設置して、人間発達学部の改組転換計画を検討しており、平成31年度の教職課程の再課程認定と同時に実施する予定としている。(29)
設置時 (29年4月)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	届出時において完成年次(平成32年度)に定年規程に定める退職年齢を超える専任教員は、14名であり、専任教員数(80名)の17.5%である。芸術系実技科目の継続性を考慮して、一部の教員は、定年年齢を超えて継続雇用することがあるが、完成年次以降、退職年齢(70歳)を超える専任教員については段階的に割合を下げ解消する計画である。(29)	履行済	
設置計画履行状況 調査時 (30年2月)	・同一設置者が設置する既設学部等(人間発達学部子ども発達学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	平成30年度は一般入試の歩留まりが悪く、入学者数は61名となった。平成31年度に向けて、新たに設けた4つの履修コースの周知・PRを徹底し、学生募集の充実を図る(30)	未履行	人間発達学部子ども発達学科では、1年次では全員が共通の「子ども・ファンデーション」において人間発達の基礎を学び、2年次から「保育・幼児コース」「学校教育コース」「発達福祉コース」「子ども芸術コース」の各履修モデルコースを選択する事とした。平成31年度に向けて、高等学校等に周知・PRを徹底するため、広報企画部に3名の専任職員を新たに増員配置し、学生募集を強化すると同時に、平成31年度に向けて、改組転換計画を進め、入学定員の見直しについても検討する。(30)

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<芸術学部 芸術学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 演習室2室 (61㎡・64㎡) ・ 演習・実技室 (56㎡) ・ 保管室 (34㎡) 	① 学生のよりよい学修環境を整備するため、演習室2室及び演習・実技室として1室を整備した。 教育研究環境整備のため、教材・資料保管室1室を整備した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成29年4月より、「FD・SD推進センター委員会」規程を定め、教員及び事務職員を対象とし大学教育の質の向上に取り組む。構成員はセンター長(学部教務主任)をはじめ、副学長・芸術学部長・人間発達学部長、芸術学科長及び子ども発達学科長、事務職員からは、学務部長及び東西キャンパス教務学生課長を配置している。</p> <p>本学において従来のFD活動は、教員による授業参観の実施や、学生による「授業アンケート」を実施していた。SD活動としては、「職員研修実施運営委員会」構成し、法人事務局を含めた全事務職員を対象に「実務研修」「職場内研修」などを企画し研修を実施している。</p> <p>今年度からは、これまで実施してきた教員による活動と事務職員が活動してきた内容を深化させ、教職協働による活動を実施し、教育の維持向上を目指す。</p> <p>また、「大学等経営協議会」の下に平成28(2016)年12月に設置された「人事・賃金制度改革プロジェクトチーム」において、教員評価、職員評価の制度設計が進められており平成30年4月から教員評価制度を導入した。 平成31年度からは、職員評価制度を実施予定としている。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>月1回程度を定例開催とし、活動内容を具体化する。その他、必要に応じて開催する。 平成29年度は、5/24、11/1の2回開催し、それぞれ9名の構成員全員が出席した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間活動の計画 ・ 予算管理 ・ 活動計画の実施 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員・職員による授業参観及び意見交換 ・ 授業方法の研究会 ・ 外部講師によるFD講演会の実施 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観を実施し、優秀な点及び改善点について意見交換を実施する。 ・ 学生が授業科目の内容を十分に理解することができる授業の展開について情報交換する。 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期・後期中に1回以上の授業参観を実施する。 ・ 平成29年度は、後期に1ヵ月の期間を設けて教員相互の授業参観を実施した。 ・ 研究会については、随時実施する。 ・ 平成29年度は、6月20日に授業研究会を実施した。

- ・平成29年度は、12月20日に外部講師を招いて「FDの必要性和意義を再考する」を演題とした講演会を実施した。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・授業改善には随時取り組み、状況については年度末に報告書として冊子を作成する。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・毎年、後期に1回実施していたが、平成30年度から前・後期ともに実施する。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・アンケート結果については、各科目の担当教員に配付しフィードバックを求めている。
 - ・全体的なアンケート結果は、冊子を作成し教職員及び学生に公開している。また、本学HP上に公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

新設の芸術学部芸術学科の目的は、音楽領域、美術領域、デザイン領域及び芸術教養領域における知識・能力を有する人材を養成するとともに、他者との協働に必要な言語力や論理的思考力、グローバル社会で必要とされる語学力等を有し、芸術を媒介としながら、主体的に社会へ参画していく能力を有する人材を養成する事である。平成29年度においては、言語系科目・初年次教育科目の必修化及び従来の音楽・美術・デザインの縦割りの教育課程から、横断的な教育課程となり、所属する領域以外の授業科目の履修が促進される等の一定の効果を上げている。(29)

平成30年度から、学生の横断的な履修を更に促すために、授業時間割の配慮に加えて東西キャンパス間を運行するシャトルバスを増便する等を行った結果、所属する領域以外の領域の専門科目の履修者が増加した。
音楽・美術・デザインの各領域を横断する教育課程が社会に認知された結果、入学定員445名を充足した。(30)
- ② 自己点検・評価報告書宛
 - a 公表(予定)時期
 - ・平成30年3月30日 公開
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書を刊行し、図書館に設置予定。
 - ・大学ホームページ上に公開(平成30年3月30日)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成29年度に評価機関(日本高等教育評価機構)の評価を受審済み。次回の認証評価受審については、受審時期を検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (有) ・ 無)
 - b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成30年9月28日予定)